



今年は桜の花が時間を掛けてゆっくり開き、春の訪れを告げる柔らかい桜色の空気を長く楽しむことができました。日に日に緑色に変わっていく木々を眺めながら改めて、移り行く季節の不思議や息衝く生命の力強さに心を動かされます。芽生えの季節である春のエネルギーが、全ての人々の心と身体に力を与えてくれますようにと願い、復興に向けて歩みを続けている被災地の方々に心を寄せつつ「ひとりの小さな手 通信 第29号」をお届けします。東日本大震災から8年が経ち、被災地の方々が復興への歩みをさまざまな形にしていく一方で、今もなお5万人以上の方々が各地で避難生活を送っていらっしゃいます。原発事故の影響を受けた地域の人々は、「戻る」「戻らない」の選択を迫られ、どちらを選んでも、戻るといってもいつ戻れるのか・・・戻れるならば本当は戻りたいのに・・・といった大きな苦悩を抱えていらっしゃることと思います。去る4月10日、福島第一原発が立地する地域では初めて大熊町の一部地域での避難指示が解除されました。1年ほど前から準備宿泊が可能となって、既に20世帯ほどの方々が長期宿泊をしており、今後は役場の業務開始、診療所の開設、商業施設の開業など町の再生を目指す動きが本格化していくとのことです。

地域の人々が協力して流された漁船を取り戻し、漁業の立て直しをされた被災地の方が「みんなで考え、みんなで頑張ったからこそここまで来られた。皆が文句ばかり言っていたら何もできなかった。」とおっしゃっていました。私たちも、1日も早く被災地の方々の生活が整い平安が訪れますようにと祈り続けながら、皆で考え、私たちにできることを実行していきたいと思っています。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど

それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる

ひとりの小さな目 何も見えないけど

それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える

ひとりの小さな声 何も言えないけど

それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える

ひとりで歩く道 遠くてつらいけど

それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる

ひとりの人間は とても弱いけど

それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇ 活動報告

○ 2018年12月4日

南相馬 原町聖愛こども園へクリスマスのお菓子

毎年、アドヴェントの時期に、かわいいクリスマスのお菓子をラッピングし、南相馬の子どもたちにお届けしています。ささやかなプレゼントですが、いつもお礼のお手紙と共に送ってくださる子どもたちの笑顔の写真は大変嬉しく、こうした小さな交わりを今後も続けていきたいと思っています。

○ 2019年2月10日

南相馬 原町聖愛こども園へバレンタインチョコレート

子どもの教会のアンデレクラス(おとなクラス)の皆さん手作りのチョコレートを原町聖愛こども園の職員の方々にお届けしました。マンディアンとアマンドショコラ2種類の大人向けのチョコレートは、こども園の皆さんにとっても喜んでいただくことができ何よりでした。

○ 2019年3月17日(日)

第20回 東日本大震災支援チャリティーコンサート開催

3月17日(日)の午後、中瀬香寿子さん(フルート)と小池節子さん(ピアノ)をお迎えし、20回目のチャリティーコンサートを開催しました。多くの方々と共に心を合わせて被災地への祈りを捧げることができましたことに心より感謝をいたします。美しいフルートとピアノの音色に本当に心豊かなひと時を与えられ、最後には皆で心をこめて『花は咲く』を歌い、被災地の復興を願いました。



素晴らしい演奏をしてくださいました
フルート 中瀬香寿子さん(右)
ピアノ 小池 節子さん(左)



手芸品やケーキのバザーへのご協力もありがとうございました。

チケット代	42,500円	手芸品バザー	45,700円
ケーキバザー	25,100円	募金	10,000円
香り募金	17,300円		

(この香り募金はチャリティーコンサートの日だけでなく3月に入ってからの累計金額になります)

出演者交通費などの経費を除くチケット代とバザー売上げ等は、次の通り被災地に送らせていただきました。残金につきましては、突発的な自然災害への支援など今後の活動に使わせていただきます。

○南相馬 原町聖愛こども園へ	20,000円
○震災支援音楽プロジェクトへ	30,000円
○日本赤十字社を通して 北海道地震で被災した方へ	100,000円

マーマレード売上(2月) 36,700円

今年は礼拝堂の横の夏みかんがたくさんありました。野毛山幼稚園ランチ職員の手作りマーマレードをチャリティーとして販売いたしました。美味しくとても好評でした。



香り募金について

昨年10月、天に召された教会の姉妹がはじめに作られました。それから教会のシャロン会(女性の会)の人たちが一生懸命作っています。困難な中にいらっしゃる方々のことを覚え、私たちにできることをしていこう、その優しい香りを広げていこうということで、ずっとこの香り募金を続けていきたいと思えます。香りのポプリはお部屋にかけても、ダンスの中に入れてもいい香りを放ちます。礼拝堂、教育館入口に常時ありますので、ぜひ、ご協力ください。



◇この3月に卒園する南相馬聖愛こども園の子どもたち17人に手作りマスコットを送ったところ、とても喜ばれました。お礼のお手紙には、次のようがありました。

先月、2月15日から20日の間に、登園の敷地内に埋設してありました除染の際に出た汚染土を搬出してもらいました。精神的には一区切りがついたと感じますが、汚染土は園から持ち出されただけで、持ち出されたものは、また別の場所に集積されることになり、決して放射能を起因する問題が解決したわけではありません。また、問題がなくなるわけでもありません。このことを私たち大人は、未来を生きる子供たちのために、しっかり心にとめなくてはならないと改めて思いました。今を生きている大人たちが富を貪りつくして、時代を生きる子どもたちに、自然界と共存できない放射性物質が残されることになることをもっと考えなければならないと強く思います。これからも、福島に住んでいるからこそ伝えられることを、保育を通して子どもたちや少しでも多くの方々に伝えていきたいと思えます。

私たちも私たちのできることをしなければならないと強く思いました。

◇今後の予定

○第21回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート
2020年 春

また、2019年 秋にはミニバザーなど小さな支援活動も企画中です。
詳細は、後日、ちらしやHPにてお知らせいたします。



発行 2019年4月21日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園
根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子